

「機械保全指導コース」カリキュラム

日程	科目	教科内容	時間	講師
6/8(月)	学 科	機械一般	3時間/1日 計36時間	松 本
6/9(火)		電気一般		
6/10(水)		材料一般・安全衛生		
6/11(木)		主要構成要素・機械の点検(道具の使い方)		
6/12(金)		潤滑および給油・非破壊検査		
6/15(月)		油圧装置・空圧装置(空気圧は実技有)		
6/16(火)		力学と材料力学の基本知識		
6/17(水)		振動管理と測定方法・機械の保全方法		
6/18(木)		日常保全を行おう 修復体験報告		
6/19(金)		電気シーケンス制御回路説明と 測定具の使用(実技)		
6/22(月)		正しいボルトナットの締結法・SI単位説明 3級実技問題解説		
6/23(火)		3級模擬試験(学科・解説) 機械保全まとめ(質疑応答)		

※日程は進行状況によっては変更する場合があります。机上だけでなく教材・実技・動画を入れ分かりやすく解説します。

【 機械保全指導コース受講の目的・ねらい 】

設備の自動化・高度化が進むほど、オペレーターは機械の操作やワークの脱着、品質チェックといった「モノづくり」にとどまらず、「自分の設備は自分で守る」ようにしなければなりません。
オペレーターに要求されるのは「異常を発見する力」すなわち品質や設備に関して“これはおかしいぞ”と、異常をいち早く感じ取る能力です。これを含めて「設備に強いオペレーター」として次の4つの能力が必要となります。

- ①異常を異常として見る目を持っていること（異常発見能力）
- ②異常に対して正しい処置が迅速にできること（処置・回復能力）
- ③正常や異常の判定基準を定量的に決められること（条件設置能力）
- ④決めたルールをきちんと守れること（維持管理能力）

※（社）日本プラントメンテナンス協会（JIPM）より抜粋



【 受講生の感想 】

- ① 参考書に沿った内容はもちろん、現場での実例等も交えて教わるのができたので、自分の知らないこともイメージしやすかった。
- ② 機械の基本的な知識や工場でする工具の使用法などを勉強でき良かった。
- ③ 限られた時間の中で多岐にわたって学べて良かった。

※ものづくり実践塾では、当法人のホームページや会報への掲載のため、受講風景を撮影させていただいております。
画像は当法人の事業に対する紹介等のみ使用いたしますのでご了承くださいませ。